

# けやき



No. 636  
2025.9.30

京大職組  
文学部支部

## 新支部委員あいさつ 天野恭子

この度、文学部支部の支部委員を務めることになりました、インド古典学専修の天野恭子と申します。文学研究科には二〇二四年四月に着任しました。自分のことを話す時に年齢を前面に出すのはあまり上品ではないかとも思いますが、来歴を語る際には重要だと思ふので、できるだけ年齢ベースでお話するようにしています。着任したのは五十二才の時になります。それより以前に職についていたのは、四十五才から五十才まで白眉研究者、それ以前となると二十九才から三十一才まで大阪大学での助手としての勤務に遡ります。職に就いていない期間が長いのは、家庭に軸足を置くことを自分で選択したことによりです。というの

を表向きの理由にしてみました。それは理由の半分です、半分は人間関係の理由でした。この期間は、無職で家で研究していたか、有給・無給の研究員の肩書をもらっていたかのいずれかでした。つまり、五十二才で文学研究科に着任するまで社会人らしい経験がほぼなく、「世間知らず」を自分のキャラにしてみました。生きてきました。自分の言葉に責任を持つことが必要な立場になり、正しい言葉を話せる人になろうと、これまでの不勉強を取り戻すべく励もうと決意しているところです。

着任してからは他の教員の先生方といういろいろお話しする機会を得るようになりました。京大での、あるいは前任校での職場の慣習や待遇などがよく話題に上ります。いろいろな職場があるものだと興味深く伺っています。専門教員の職に就く人は、研究を志す人のうちの一部だけということになります。つまり、研究を続けられなかったり、大学であつても専門とは違う科目の教育をしている同じ分野の同僚たちと比べると、京大の文学研究科などは天国、というわけです。恵まれているのだから不満を言うてはいけません、という考え方は危険でありうるわけですが、私はいつもこの方向に振つて来たように思います。

これまで、PTAや子供のスポーツクラブ、自治会などに参加する機会があると、しばしば理不尽なことや誰かの横暴に出会ったものでした。そういう時、少しは発言したこともありましたが、多くの場合において私はいつも黙っていました（しかもニコニコして）。

今年度、支部委員が一部交代したことをうけて、七月三十一日（木）の午前出口研究科長、川畑事務長と懇談会を行いました。支部委員会側からは、新支部長の丸山、副支部長の天野、新支部委員の箱田の3名が

参加しました。最初に、今年度の新支部委員全員を紹介し、年明けに実施予定の懇談会への出席をお願いしました。次に、これまでどおり組合との信頼関係に基づき、申し入れに応じて折衝・交渉等の場を設けていただくこと、組合との慣行事項等に変更があるときには事前に連絡をしていただくこと、支部総会などの組合活動に際しては文学部内の会議室の利用をお認めいただくこと、そして組合のアンケート時に文学研究科の構成員全員に送信できるように使用させていただくことについて、合意の確認を取ることができました。また、支部委員側からお尋ねした以下の点についても回答をいただきました。

(1) 国際卓越大学について。機密文書の指定の範囲で資料の公開が可能なものの、できる限り情報を開示し、研究科長自身の見解も含めて話しをし、懇談する場を設けていきたいという説明がありました。さまざまなチャンネルで文学研究科の意見を発信していくことが大事だということです。(2) 男女共同参画に関する取り組みにつ

### 研究科長・事務長への ご挨拶

今年度、支部委員が一部交代したことをうけて、七月三十一日（木）の午前出口研究科長、川畑事務長と懇談会を行いました。支部委員会側からは、新支部長の丸山、副支部長の天野、新支部委員の箱田の3名が

参加しました。最初に、今年度の新支部委員全員を紹介し、年明けに実施予定の懇談会への出席をお願いしました。次に、これまでどおり組合との信頼関係に基づき、申し入れに応じて折衝・交渉等の場を設けていただくこと、組合との慣行事項等に変更があるときには事前に連絡をしていただくこと、支部総会などの組合活動に際しては文学部内の会議室の利用をお認めいただくこと、そして組合のアンケート時に文学研究科の構成員全員に送信できるように使用させていただくことについて、合意の確認を取ることができました。また、支部委員側からお尋ねした以下の点についても回答をいただきました。

(1) 国際卓越大学について。機密文書の指定の範囲で資料の公開が可能なものの、できる限り情報を開示し、研究科長自身の見解も含めて話しをし、懇談する場を設けていきたいという説明がありました。さまざまなチャンネルで文学研究科の意見を発信していくことが大事だということです。(2) 男女共同参画に関する取り組みにつ

2025年度支部委員会  
丸山里美（支部長）  
岩本佳子・岸政彦  
天野恭子・箱田恵子・  
松永伸司（新委員）